

HP: <https://rakuno.org/>

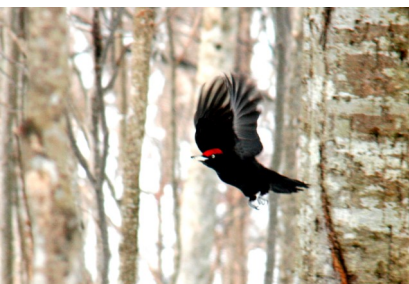
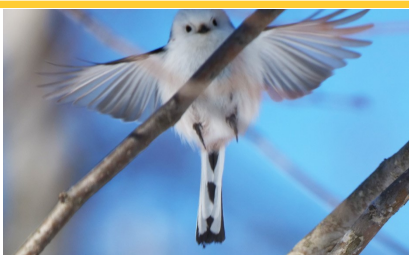
同窓会通信－野幌だより－

酪農学園同窓会ニュースレター

高校・短大・大学 同窓生関連の最近の話題

トピック（スケジュール）

11月20日 貴農同志会懇話会
11月22/23 大学推薦入試日
11月23日 佐藤元昭先生を偲ぶ会
11月25日 短大Ⅱコース13期生同期会
11月26日 機農高校酪農経5期生同期会
12月13日 機農高校24期生同期会
12月25日 学園クリスマス礼拝祝会
01月07日 緑風会総会交流会
01月17/18 大学入学共通テスト
02月04/05 大学1期学力入学試験
02月17日 高校一般入学試験
02月28日 高校卒業式
03月03日 大学2期学力入学試験
03月07日 中部地区愛知県支部総会
03月19日 大学学位記授与式



目次：

東北地区福島県支部総会	1
短大Ⅱコース5期生同期会	2
機農高校酪農経営科5期生同期会	2
元創世寮お友達の集いinOSAKA	2
短大Ⅱコース14期生同期会	3
札幌支部総会・ミニサロン報告	3
世界獣医師大会時同窓会案内	4
ホームカミングデー予告	4

東北地区福島県支部第17回（令和7年）通常総会終了報告



11月15日（土）午後3時から郡山市ピックアイ7階市民交流プラザに於いて酪農学園同窓会福島県支部第17回通常総会を出席者総数14名で開催致しました。学園からは樋口副学長、同窓会からは野会長のご臨席を頂きました。

総会は事務局の司会で進行し、荻野英泰酪農学園同窓会福島県支部長代行挨拶の後、支部長代行が議長席につき議事に入りました。

第1号議案 第17回事業報告、収支決算報告、会計監査報告

第2号議案 第18回事業計画案、収支予算案

以上、原案の通り承認されました。

総会初頭には野会長から祝辞と学園および同窓会の近況の報告を頂き、更に総会終了後は樋口副学長から「日本の大学の現状、酪農学園大学における現状および今後の組織改革等について」の内容を分かり易く丁寧な講演が行われました。

総会、講演会に引き続いて親睦会に入り自己紹介（近況報告）が行われ、大いに親睦を深める事が出来ました。（文責 事務局長 宮崎 雅人）

酪農学園同窓会の現況(卒業生数)2025.04.01

2024年度 累計卒業生数

大学院 計	1,778名
大学 計	34,987名
短大 計	9,487名
高校 計	22,223名
合計 計	68,475名

酪農義塾 計 303名
酪農学校 計 *91,517名

* 出典酪農学園史2巻より

総合計 160,295名

地区支部の設置状況（ ）は未設置

北海道1区：石狩	3支部（1）（江別）
北海道2区：道央	6支部（2）（空知1）（胆振2）
北海道3区：道南	5支部（2）（後志1）（後志2）
北海道4区：道北	6支部（1）（留萌1）
北海道5区：道東	6支部（0）26支部（6）
東北地区：	6支部（0）
関東甲信越地区：	10支部（0）
中部地区：	7支部（0）
近畿地区：	6支部（0）
中国地区：	5支部（0）
四国地区：	4支部（0）
九州地区：	8支部（0）46支部（0）

同窓会開催報告

短大Ⅱコース14期生同期会報告

懐かしい顔をともにした数時間！

～短大Ⅱコース14期生同期会 報告～



令和7年11月14日
第14期生28名が北海道内外より懐かしい顔を合わせました。
卒業（1980年・昭和54年度）して以来、初めて顔を合わす人もいたり・・・

在学当時の面影を思い浮かべながらのひと時でした。世界中を震撼させた新型コロナウイルス感染症に阻まれて、前回の開催（平成30年）より少し時間経過はありますが、それぞれが還暦を過ぎながら日々の健康管理や常備薬、孫の話等々、容姿は変われども気持ちは在学中にタイムスリップし、和やかな時間を過ごしました。

時間の経過とともに、当時の思い出話（秘話？）が会場内のあちこちで・・・
経営を次世代（子供等）へ引き継いだ人、職場を退職して穏やかな時を過ごす人（勿論現在も現役な人も・・・）、更には新たな仕事に奮闘していたり・・・と様々ではありますが、それぞれの地域や広くは社会情勢までに至る情報交換がされていました。



住所が分からずにいた仲間の情報が新たに確認出来たりするなど、全国に広がる人と人のつながりを改めて感じました。
半面、訃報を知る場面もありましたが、年代的にも・・・とは思いつつも残念ではありますが、また次回（三年後・令和10年）に会う事を計画し、それまで健康で頑張りましょう・・・と約束をした同期会でした。



令和7年11月14日 第14期生28名が北海道内外よりホテルエミシアで懐かしい顔を会わせました。卒業（1980年・昭和54年度）して以来、初めて顔を合わす人もいたり・・・在学当時の面影を思い浮かべながらのひと時でした。

世界中を震撼させた新型コロナウイルス感染症に阻まれて、前回の開催（平成30年）より少し時間経過はありますが、それぞれが還暦を過ぎながら日々の健康管理や常備薬、孫の話等々、容姿は変われども気持ちは在学中にタイムスリップし、和やかな時間を過ごしました。

時間の経過とともに、当時の思い出話（秘話？）が会場内のあちこちで・・・

経営を次世代（子供等）へ引き継いだ人、職場を退職して穏やかな時を過ごす人（勿論現在も現役な人も・・・）、更には新たな仕事に奮闘していたり・・・と様々ではありますが、それぞれ地域や広くは社会情勢までに至る情報交換がされていました。

住所が分からずにいた仲間の情報が新たに確認出来たりするなど、全国に広がる人と人のつながりを改めて感じました。

半面、訃報を知る場面もありましたが、年代的にも・・・とは思いつつも残念ではありますが、また次回（三年後・令和10年）に会う事を計画し、それまで健康で頑張りましょ

う・・・と約束をした同期会でした。（文責 事務局 井上茂）

！

2025年度札幌支部総会・ミニサロン開催報告



2025年10月18日（土）13:30から、札幌市厚別区民センター区民ホールにおいて2025年度酪農学園同窓会札幌支部総会およびミニサロンが開催されました。

総会は、出席者23名（役員9名、委任状9名、その他卒業生5名）および来賓として酪農学園常務理事征矢真一様、酪農学園大学学長岩野英知様、酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校校長石川和哉様、酪農学園同窓会事務局長浦川利幸様のご出席を賜り、開催されました。下田支部長挨拶、来賓挨拶に続き、第1号議案から第4号議案まで、報告、説明を行い、いずれも承認されました。

総会に続き、ミニサロン「循環農法を理解し最先端技術を活用できる人材育成とは」を開催しました。酪農学園は2023年に創立90周年を迎えました。創立以来、一貫して資源を循環させて自然環境への負荷を考えた「循環農法」を教育の基本とし、北海道の酪農の発展に貢献してきました。近年の農業を取り巻く情勢は、高齢化や働き手の減少、農業の生産性向上、環境への配慮、農産物の高付加価値化など新たな課題への対応が求められています。そのため、酪農学園大学では、2026年4月に未来の地域と農業の創造に貢献できる人材の養成を目指す「農環境情報学類」を開設します。今回のミニサロンでは、岩野学長から農環境情報学類の教育概要をお話しいただき、今後の大学運営についてご説明いただきました。

続いて、短大酪農科1967年卒の（株）フローリカルチャリストタカハシ元代表高橋磊三氏からは、これまで歩んでこられた様々な事業についてお話しいただきました。また、現在の花き栽培をご家族で経営されて、現在はともに循環農学類卒の享平夫妻を中心に事業を展開しているとご説明いただきました。

酪農学園同窓会札幌支部では、今後も、様々なテーマのミニサロンを開催し、新たな同窓会活動を模索していきます。（文責 事務局 中山）

